



苫名 直子
(北海道立三岸好太郎美術館 学芸員)

中井 令
(イラストレーター)

北瀬 洋子
(大通地区主任児童委員)

常本 幸枝
(桑園地区主任児童委員)

子どもと一緒に楽しめる場所、増やし中。

地域で親子を励まし、楽しませ、ホッと気持ちを和らげること。子どもたちにたくさんの思い出を作らせてあげること。立場は違えど同じ目標を持った方々が、『おぼけのマールと絵のふしぎ』展が開催中の三岸好太郎美術館に集合。北海道の画家による名作とおぼけのマールとのコラボレーションに迎えられ、一気にテンションアップ!まずはマールの話題でひとしきり盛り上がり…

北瀬: 以前、子どもと一緒に「たんけん美術館」に来たことがあるんです。今日久しぶりに来てみたら、そのときのイメージと全然違うので、もう一回子どもを連れて来てみたくなりました。

苫名: ありがとうございます。「たんけん美術館」は、当館で1987年から始まった事業です。ワークシート(セルフガイド)

を使って、展示室内での絵探しやクイズなどに挑戦してもらう形で、毎年夏休みと冬休みに開催しています。『おぼけのマールとちいさなびじゅつかん』が出版されてからは、マールにもワークシートが登場してもらっています。

常本: 今日ここに来て展示空間を観たときに、とてもわくわくしました。マールとコラボレーションした展示は初の試みですか?

苫名: おぼけのマールの展示は、3回目ですね。シリーズ名になっている「アミューズランド・トゥモロー」については、通常は北海道立近代美術館で開催しており、当館で開催するのは初めてです。

中井: 2009年に、ここで『おぼけのマールとちいさなびじゅつかん』の原画展を開催させて頂いて。その後、マールと三

岸作品が絡む新作11点と、原画を紹介する展示もしました。

北瀬: なかなか絵本の作者さんとお話する機会がないので、今日はお会いできてうれしいです。子育てサロン(※1)でもブックスタートや読み聞かせに力を入れているので、お母さんたちにマールシリーズを紹介したいですね。絵本『おぼけのマールとちいさなびじゅつかん』は、どのような経緯で誕生したのですか?

苫名: 子どもを連れていった病院の待合室で、初めて『おぼけのマールとまるやまどうぶつえん』を読んで。札幌を舞台にしたこんな素敵な絵本があるんだ、と感動しました。その後、ご縁があって文を書かれているけーたろうさんにお会いしたときに、「こんなかわいいおぼけが、三岸好太郎美術館にも来ないかな」って言ったら「じゃあ、行きますよ」って。夢のような展開でした。

中井: 元々、私もこの美術館が好きで。知事公館の方から歩いてくると、木々の中に、まるで白い宝石箱のように佇んでいる。けーたろうさんからお話を聞いたときも、マールが訪れたい美術館だなんて思いました。

地域の中に、親子で共通体験のできる場を増やしたい

常本: 今回のマールと美術館とのコラボレーションのように、美術館を身近に感じさせてくれる試みは、子育てをしていた者としてはありがたいです。今は閉じこもりがちな親子が多く、そういう人々を外にどんどん連れ出してあげるのが私たちの役目。こういう場所が増えていくと、子育てももっと楽しくなるだろうと思います。子どもが小さいときに、親子での共通体験をたくさんすることが大切ですね。

北瀬: 大通地区と桑園地区と共同で制作した子育て支援マップ(※2)には、子育てサロンの他にも、病院や親子で訪れることのできる場所などを掲載していて。三岸好太郎美術館も、掲載させて頂きました。

苫名: 当館にも、どんどん親子で立ち寄って楽しんでもらいたいと思っています。私自身、子どもが小さかったときは、外出したいのだけど子どもと一緒にどこかに行きづらい場所が多くて。結果、家に閉じこもってしまいがちでした。自分と同じように、行き場に困っているお母さんたちは多いと思います。

常本: 核家族化で育児にストレスのかかる時代ですから、地域で親子を励まし、楽しませ、ホッと気持ちを和らげる支援は大いに必要です。三岸好太郎美術館の取り組みを子育て支援にいかすことができるよう、私たちの方でもお手伝いしていきたいですね。

中井: それぞれ立場は違っても、子どもの未来を一番に考えていることは皆同じ。私も、自分が育ったまちのことを誇りに思っほしいという願いを込めて、この絵本を作っています。子どもたちに思い出を作ったり、いろいろな体験をさせてあげたり、そうやって心の根っここの部分に栄養を与えることができれば、きっとたくましい大人に成長してくれるのではないのでしょうか。これからもマールを通して、皆さんの取り組みに協力していけたらと思います。

- 1: 子育てサロン
大通ちびっこ子育てサロン(リンケージプラザ): 毎月1回第2金曜日開催。お問い合わせ先 011-251-6353
桑園ちびっこひろば(桑園ふれあいセンター): 春、夏、冬休み中開催。お問い合わせ先 011-621-3405
児童会館サロン(桑園児童会館): わんぱくサロン(月曜)、ベビーサロン(火曜)、子育てサロン(水曜) ファミリーサロン(土曜) ※全て午前中開催。お問い合わせ先 011-641-7008
8☆8プラザ(徳生寺): 毎月8日の午前中開催。お問い合わせ先 011-611-3629
- 2: 子育て支援マップ
2011年9月発行。主にまちづくりセンターで配布中。

『おぼけのマールと絵のふしぎ』
会期: 開催中~2012年1月15日(日)まで
休館日: 年末年始(12/29~1/3)・1/10
※会期中は月曜日も開館します。
開館時間: 9:30-17:00(入場は16:30まで)
観覧料: 一般600(450)円/高大生350(250)円/小中生250(200)円
()内は団体、ファミリー、リピーター料金



北海道立三岸好太郎美術館
札幌市中央区北2条西15丁目/
011-644-8901/9:30-17:00(入場は16:30まで)